

都市住宅学会関西支部 学生研究発表交流会 2025

発表交流会：2025 年 10 月 4 日（土）14:00～17:00（予定）
（会場：大阪梅田ツインタワーズ・サウス UR 都市機構西日本支社 オフィス内
集合：13:40 大阪梅田ツインタワーズ・サウス 21 階 UR 都市機構 西日本支社
オフィスエントランス）

■はじめに

都市住宅学会関西支部では、学生が最終的に論文をまとめる前に、さまざまな人との議論を通して自身の研究を深め、なおかつ相互の交流を進める場として「学生研究発表交流会」を例年開催しています。

今年度の発表会でも特にテーマを設定せず、会員に限定することなく学生の発表を広く募集します。現在取り組んでいる研究やこれから取り組む研究でも構いません。他大学の学生・教員、行政、企業の方などからアドバイスをいただき、交流する場です。学生の皆さんは積極的に応募してください。またゼミなどでご指導の先生方にはぜひとも学生に応募をお勧めいただき、またご関心のある研究室にも応募をお勧めいただきますようお願い申し上げます。

■都市住宅学会について

都市、地域、住宅の問題は、建築学、住居学、都市計画・社会工学、法学、経済学、社会福祉学、社会学、心理学、政治学など幅広い学術領域にまたがり、産官学などさまざまな立場の専門職が関わっています。当学会は、学問領域や立場を超えて、都市、地域、住宅に関する問題を広く議論・共有する目的で設立された学会です。

■学生研究発表交流会

□発表の手順について（発表申し込みは、既に締め切りました）

(1) 発表を希望する学生は、A4 用紙に概要を 300 字以上にまとめたもの（書式・段組み等について指定はありませんが、研究タイトル・背景・目的・方法・分析・考察に準ずる構成とすること、図表は適宜付加してよい、引用・参考文献リストを末尾につけること）を word 形式もしくは PDF 形式にてまとめ、E-mail に上記ファイルをメール添付して提出してください。この概要をとりまとめて発表会時の要旨集を作成します。応募の際のメールの件名は「学生研究小論発表・討論会 2024 応募」とし、メール本文には、名前（代表者ならびにグループ全員）、所属（大学・学部・学科）、学年、メールアドレス、電話番号、研究タイトルを明記してください。

応募締め切り：2025 年 9 月 24 日（水）17:00 必着（E-mail にて）

提出先：都市住宅学会関西支部事務局

（E-mail: gakkai-west@urban-ii.or.jp）

(2) 応募締め切り後、応募内容を参考にプログラムを決め応募者全員に通知します。開場では、ポスターを掲示してポスターセッションを行います。A1 サイズのポスターを用意ください（パワーポイントを A4 サイズで印刷し、複数枚掲示する形式でも構いません）。

(3) 研究発表交流会では、ポスターセッションではまず各自数分の発表を予定しています（ポスターセッションとは別会場で、スライド投影の予定）。発表資料をご用意ください。全員の発表終了後、直ちにポスター発表会場にて、自由討論とします。

□発表交流会当日のスケジュール（予定）

13:40 大阪梅田ツインタワーズ・サウス 21 階 UR 都市機構
オフィスエントランスに集合

13:40-14:00 ポスター掲示

14:00-14:30 特別講演『地域のなかで見つけて育てる研究テーマ
～飛騨市における地域らしさ研究を事例として～』
関口 達也 氏（京都府立大学）

14:40-17:00 ポスターセッション（含むスライド発表）

□応募資格（発表申し込みは、既に締め切りました）

近畿地方（2 府 4 県）の大学・大学院に在籍する学部生・大学院生
（修士課程・博士課程）の個人もしくはグループ（非学会員でも可）

□懇親会（予定）

発表終了後に会場下階のレストランスペースで軽食・飲み物を用意して、懇親会を行う予定です。学生のみなさんは参加費 500 円
でご参加いただけますので、ぜひご参加ください。当日の受付時
に参加の有無をお聞きます。

■会場・アクセス

特別講演：UR 都市機構西日本支社 オフィス内 @LINK

ポスター発表：UR 都市機構西日本支社 オフィスエントランス

集合：UR 都市機構西日本支社 オフィスエントランス

<https://www.ur-net.go.jp/west/aboutus/index.html>

アクセス

最寄り駅：JR大阪駅、JR北新地駅、阪急「大阪梅田」駅、阪神
「大阪梅田」駅、大阪メトロ 御堂筋線「梅田」駅・四つ橋線「西
梅田」駅・谷町線「東梅田」駅

※阪急、大阪メトロ御堂筋線・谷町線側（東側）にもEVはありますが、西側（シャトルEV）の方を推奨。JR大阪駅からの場合、中央改札から南下、地下1階へ。大丸百貨店の入口を過ぎ、阪神百貨店の入口を過ぎて、左手に「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」の入口あり。シャトルEVにて11階オフィスロビーへ。11階で乗り換えて21階へ。

※「梅田ツインタワーズサウス アクセス」などでも検索ください。

住所：〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田一丁目13番1号
大阪梅田ツインタワーズ・サウス 21階

（連絡が必要な場合、080-4367-5248（関口携帯） までご連絡ください。）

■問い合わせ先

都市住宅学会関西支部事務局

E-mail: gakkai-west@urban-ii.or.jp

TEL 06-6359-1322 FAX 06-6359-1329

〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪
ナレッジキャピタル タワーC7

発表交流会の概要

■特別講演

講演タイトル：『地域のなかで見つけて育てる研究テーマ

～飛騨市における地域らしさ研究を事例として～』

講演者：関口 達也 氏（京都府立大学）



講演概要：
卒業論文や修士論文等の研究テーマを決めるのに苦労した経験はありませんか？自分も学生時代、そのような経験がありました。一方で、住宅・建築・都市・地域といった対象を扱う分野では、実際の現場に、様々な研究テーマのヒントが隠れています。今回の講演では、最近の主要な研究テーマである『飛騨市における「地域らしさ」研究』について紹介しながら、本当に偶然に研究テーマとして成立し、発展していったプロセス・経緯についてお話します。これから研究テーマを決めようとしている学生の皆さんたちにとって、自分の興味・スキルを活かしたテーマを見つける際のヒントになるようなお話が出来ればと思います。

講演者プロフィール：
京都府立大学 生命環境科学研究科 環境科学専攻 准教授 / 2015 年 3 月 東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻，博士後期課程修了 博士(工学) / 中央大学理工学部 助教，金沢大学理工研究域 助教を経て，2021 年から現職 / 学生時代より学んできた都市工学・空間情報科学の知識・技術を活用しながら，都市計画学研究室を主宰して都市計画・まちづくりに役立つ研究を行っている。地理情報システム学会 若手分科会会長なども務める。ここ 10 年ほど，スマホの位置情報ゲームにハマっています。

■学生交流発表会

◎タイムスケジュール

- 13:40 大阪梅田ツインタワーズ・サウス21階UR都市機構オフィスエントランスに集合、受付を済ませる
- 13:45～14:00 UR都市機構西日本支社オフィス内 @LINKルームに移動。発表学生はこの時間にエントランスにポスターを掲示
- 14:00～14:30 特別講演『地域のなかで見つけて育てる研究テーマ ～飛騨市における地域らしさ研究を事例として～』：関口達也氏（京都府立大学）
- 14:30～14:35 （休憩5分）
- 14:35～15:00 研究概要の紹介・前半（奇数番の学生4分ずつ×6人 @LINKルームにて）
- 15:00～15:40 ポスターセッション・前半（奇数番の学生がポスター前で質疑対応・オフィスエントランスにて）
- 15:40～15:45 （休憩5分）
- 15:45～16:05 研究概要の紹介・後半（偶数番の学生4分ずつ×5人 @LINKルームにて）
- 16:05～16:50 ポスターセッション・後半（偶数番の学生がポスター前で質疑対応・オフィスエントランスにて）
- 16:50～17:00 まとめ・ふりかえり
- 17:20～懇親会(任意参加)

◎ 発表者・発表題目

要旨集掲載順	ポスター番号.	氏名	所属・学年	発表タイトル
			前半セッション： 研究概要の紹介 14:35～15:00	ポスターセッション 15:00～15:40
1	1	三島 奈月	京都美術工芸大学 建築学部建築学科・B4	京町家の改修における古材の利用実態に関する研究 ーサーキュラーエコノミーの観点から考えるー
2	3	河原 志龍	京都美術工芸大学 建築学部建築学科・B4	京都市内の路地に見る愛称付けの意義と課題 ー地域住民の意識に着目してー
3	5	山田 智也	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻・M2	実施設計プロジェクトにおける教員の関与と学生主体性の比較分析
4	7	蓮沼 岳人	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻・M1	「鍵屋荘」を対象にした VR 空間による空間視点の抽出
5	9	鎌田 安希子	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻・M2	京都市における野菜の振り売りの実態調査
6	11	笹谷 匠生	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻・D1	認知症高齢者を含めた集住環境における共同生活支援の効果と課題 介護スタッフと寄り添いスタッフに注目して
			後半セッション： 研究概要の紹介 15:45～16:05	ポスターセッション 16:05～16:50
7	2	高杉 優里	兵庫県立大学 環境人間学部 環境人間学科・B4	選択的なつながりを創出する場としてのマルシェの意義に関する研究 ー西宮市鳴尾浜臨海公園「おさんぽガーデン」を対象としてー
8	4	児玉 怜生	兵庫県立大学 環境人間学部 環境人間学研究科・M1	創作活動を行うマルシェ出店者の作品更新プロセスに関する研究 ー高砂市高砂銀座商店街の「朝ごばん市」を対象としてー
9	6	井上 陽平	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻・M1	名付けの多重性に注目した設計プロセスの研究
10	8	田路 達也	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 環境科学専攻・M2	地域の理解度に着目した街並みの価値評価の比較 ー地域との関わり方の異なる人々への調査に基づいてー
11	10	岡本 陸	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻・M2	インクルーシブ公園の質的側面に関する研究